

## デイヴィッド コーエン 略歴

デイヴィッド コーエンはヨーロッパで最も成功している若手チェリストの一人。彼は疑いなく世界で最もカリスマ的存在のチェリストである。

ベルギーのトゥルネで生まれ、9歳にしてベルギー王立管弦楽団とソロデビューを果たす。ソリストとして国際的に活躍している。サンペテルスブルグフィルハーモニー管弦楽団、BBC交響楽団、ロンドンソリスト室内楽団、リエージュ管弦楽団、VRT管弦楽団、ベートーベンアカデミーオーケストラ、リル国立管弦楽団、チューリッヒ室内楽団、ローザンヌ室内オーケストラ、ワロニー室内楽団、スイスロマンダ管弦楽団、グルノーブル管弦楽団、ソウルフィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団、BBCコンサート管弦楽団など。

世界的著名な指揮者である、ロード メニューイン、ミスラフ ロストロポーヴィッチ、ワルター ウェエラー、サー チャールズ メクラス、ウラディミール アシュケナージ、C.V. ドナーニ、ペドロ ハルプター、マルティン ブラビンス等と、ソリストとして共演。

2007年6月にアシュケナージ指揮でN響と行われた日本デビュー公演ではチャイコフスキーのロココ主題による変奏曲を披露し、大成功をおさめ、再び今シーズン2010年の公演に招待されている。

ユーディメニューイン学校とガイドホール音楽演劇学校卒業後、メニューイン財団の助成金を受け、25以上にもわたる国際チェロコンペティションで受賞している。主な受賞歴として、ジャックリーヌ デュプレとと同じくロンドンでGSMD金賞、ジュネヴァ国際チェロコンペティション、アウディ国際コンペティション、デュエ国際チェロコンペティション、テヌート国際コンペティション、ギルヘルミニス スジア賞、イアン フラミング賞、SPES、KPMGマーティン奨学金、ハットリ財団、ベルトリブイトニー助成金、SUISA財団、J.S. バッハ国際コンペティション。

彼は、2002-3年度のシーズンで、ECHO期待の新星としてベルギー王立管弦楽団とコンサートゲボウにノミネートされた。

彼は、著名なチェリストに師事している。ウィリアム プレース、メリッサ ペレップス、リン ハレル、ダニルシャフラン、ナタリア グッドマン、ガリ ホフマン、ベルナード グリーンハウス、スチープン イサリス、ボリス ペルガメンシコウ、ロード メニューイン、ミスラフ ロストロポーヴィッチ、オレグ コーガン。

デイヴィッドは室内楽奏者としても力を入れており、ヨーロッパ若手演奏家とともにメジャーなフェスティバルに招かれパフォーマンズしている。クロンベルグ（ドイツ）、マンチェスター（イギリス）、カンブリッジ（イギリス）、ボーヴェ（フランス）、ボルドーのオルフェウス バッカス（フランス）、ガスタッド フェスティバル（スイス）、ウェスト コーク（アイルランド）、クーモ（フィンランド）、エベルム（ノルウェー）、オクスフォード（イギリス）、ソノロ（ルーマニア）等。

デイヴィッドはメルキオール アンサンブルのアーティスティック ディレクターとして、サーシャ シトコヴェスキー、プリヤ ミチエル、コリン シャペル、シルバーアイノマエ、ラズバン ポポヴィッチなどヨーロッパの優秀な若手演奏家を集め、彼らと共に活動している。

彼は21歳でフィルハーモニア管弦楽団のプリンシパル チェロ奏者に任命される。これは世界最年少である。

レコーディングは Forlane, Classic FM, Cypres-Records and the LPO Label であり、フィルハーモニア管弦楽団共演とのルトスラフスキー チェロ協奏曲、グーバイデュリーナ作曲 BBC交響楽団共演のCDは近々発売予定である。

現在使用している楽器は ミセス モルトン パットとラズモフスキー財団から授与された1735年製 ドミニクス モンタニャーナである。

” ...デイヴィッド コーエンは私の知っている最も才能のあるチェリストだ。 彼は数年、私の学校で学んだが、彼は素晴らしい若者で 注目すべきパフォーマーで、既に確立されたチェリストだ”

ロード メニューイ

ン (1998年12月)